

目標の柱	5	町民と行政との協働によるまちづくりと未来を拓く行政経営
基本目標(政策)	5-1	地域力の向上を図ります
基本計画(施策)	5-1-4	・集落支援の充実

	課	係
主管課・係	総合政策課	地域振興係
	各総合支所振興課	企画観光係
関係課・係		

【施策の目的と取組・現状分析】

<p>1 施策の目的(対象・意図)は何ですか？ ※対象(誰が、何が)、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。</p>	<p>①集落が主体となった取組や、集落支援員のサポートにより活気を取り戻し、集落機能を維持する。</p>																																								
<p>2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか？</p>	<p>▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか？箇条書きで記載してください。</p> <p>①集落の自主的な活動の増加。 ②集落機能の維持。(住民同士が相互に扶助し合いながら生活の維持・向上を図ることや、農林業等の地域の生産活動の維持・向上を図る草刈、普請など、農林地や地域固有の資源、文化等の地域資源を維持・管理する資源管理機能を果たす)</p>																																								
<p>3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 集落支援員を活用し事業を実施した集落数</td> <td>集落</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>B 集落応援交付金による事業数</td> <td>事業</td> <td>1,069</td> <td>1,053</td> <td>1,080</td> <td>1,083</td> <td>1,080</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	実績値	実績値	目標値	実績値	目標値	A 集落支援員を活用し事業を実施した集落数	集落	8	8	10	8	10	B 集落応援交付金による事業数	事業	1,069	1,053	1,080	1,083	1,080	C							D							
			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度																																	
	実績値	実績値		目標値	実績値	目標値																																			
A 集落支援員を活用し事業を実施した集落数	集落	8	8	10	8	10																																			
B 集落応援交付金による事業数	事業	1,069	1,053	1,080	1,083	1,080																																			
C																																									
D																																									
<p>4 成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか？</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>▼その理由として考えられること</th> <th>見込み</th> <th>▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A ④ 下回った</td> <td>1集落追加、1集落減</td> <td>③ 取組改善で達成可能</td> <td>高齢化が進み、支援を必要とする集落が増えると考えられる。</td> </tr> <tr> <td>B ③ ほぼ目標値どおり</td> <td>予定どおり実施計画を立てる事ができた。</td> <td>② このままで達成可能</td> <td>集落機能の低下で事業数は減る可能性がある。</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方	A ④ 下回った	1集落追加、1集落減	③ 取組改善で達成可能	高齢化が進み、支援を必要とする集落が増えると考えられる。	B ③ ほぼ目標値どおり	予定どおり実施計画を立てる事ができた。	② このままで達成可能	集落機能の低下で事業数は減る可能性がある。	C				D				<p>5 令和4年度の目標値達成の見込みと方向付け</p>																				
評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方																																						
A ④ 下回った	1集落追加、1集落減	③ 取組改善で達成可能	高齢化が進み、支援を必要とする集落が増えると考えられる。																																						
B ③ ほぼ目標値どおり	予定どおり実施計画を立てる事ができた。	② このままで達成可能	集落機能の低下で事業数は減る可能性がある。																																						
C																																									
D																																									
<p>6 施策の目的に対して、今まで実施してきたことはなんですか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・区長・行政連絡員会議で集落応援交付金制度の周知や取組事例を紹介した。 ・集落支援員の配置。 ・地域おこし協力隊を採用した。 																																								
<p>7 町民等の外部意見を聴取する仕組みと反映状況を記載してください。</p>	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無																																								

【施策の振り返り】

<p>8 「2 成果目標」に対する有効性(成果が上がった点・問題点)</p>	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落担当職員制度で職員が各集落と連絡を密にし、集落応援交付金制度の周知が図られた。 ・区長・行政連絡員会議で概要を周知し、様々な取組が図られた。 ・集落支援員の活動により、集落事業が継続されている。 <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落担当職員によっては、集落とのコミュニケーションが少ない者もいる。 ・地域力が低い集落については、従来の取組を継続することが精一杯の集落もある。 ・地域おこし協力隊や集落支援員のケアが十分にできていない。
<p>9 本施策の類似性</p>	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
<p>10 本施策の効率性</p>	<p>集落の様々な活動を支援するとともに、集落機能の維持、さらに発展的な取組を促すためには、有効かつ効率的だと考えています。</p>

【結論として…(施策の振り返りも踏まえて)】

<p>11 自己評価や外部意見を踏まえた施策全体の今後の方向性</p>	<p>集落の高齢化率が上昇し、人口減少も加速している傾向にあるが、集落の機能を維持するために主体的、自発的な取組への支援を必要があると考えます。</p>
-------------------------------------	--

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和4年度新規事業に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)				
			事業費(千円)				
			令和元年度決算額	令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度予算額	
01	集落支援事業(集落支援員)	総合政策課	目的	人口減少と高齢化が進む集落の維持・活性化を図る。			
			概要	館岩、伊南、南郷地域の集落状況調査を実施し、集落カルテの作成を行った。将来的に集落機能の維持が困難になる可能性の高い集落を選定し、より適切な方策を探し維持・活性化に努めた。			
			成果	集落の活動を維持し、より発展した支援に取り組むことができた。			
		地域振興係	問題	個別の集落を支援するだけでは目に見えた成果が現れない。集落が本当に求めている支援を具体的に進める必要がある。			
			対策	①継続 座談会や区長との面談等で集落の課題を洗い出し、目に見えた支援策を打ち出していく。			
			事業費	9,323	11,240	11,976	12,021
			事業費	9,323	11,240	11,976	12,021
02	集落応援交付金事業	総合政策課	目的	地域の自主的かつ主体的な住民自治活動の推進と集落機能の維持・強化を図るとともに、相互扶助体制の確立を図る。			
			概要	各集落が、集落内の問題解決や集落活動の維持等に関する事業を実施し、その実施事業数に応じて交付金を交付した。			
			成果	話し合いの場や、寄り合いの場が増えるなど、集落内コミュニケーションが図られるようになった。また、様々な集落活動が行われ、集落の維持強化が図られた。			
		地域振興係	問題	高齢化や過疎化に伴い、申請や実績報告等の事務が集落役員の負担となっている地区がある。			
			対策	①継続 負担が一部に偏らないように、集落担当職員と協力して事務を行っていく。			
			事業費	20,440	19,991	19,984	21,229
			事業費	20,440	19,991	19,984	21,229
03	集落担当職員制度	総合政策課	目的	集落と行政とのパイプ役となることで、集落が抱える課題を行政に伝達することができ、集落の安心感につながる。			
			概要	町職員を集落担当職員として配置し、集落と行政とのパイプ役になった。また、各種手続き等の支援を実施した。			
			成果	各集落に職員が配置されていることで、行政との距離が近くなり、安心感につながっているとの評価を得ている。			
		地域振興係	問題	集落の会合が夜間や休日になることもあり、職員の負担になっているところもある。			
			対策	①継続 区長へ事業概要を説明し、制度を理解していただく。			
			事業費	0	0	0	0
			事業費	0	0	0	0
04	地域おこし協力隊	総合政策課	目的	地域に居住して、地域ブランドや地場産品の開発・PR等の支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行い、その地域への定住・定着を図る。			
			概要	都市地域から過疎地域等に住民票を移動し生活の拠点を移した者を、「地域おこし協力隊」として委嘱した。			
			成果	田島地域に3人、伊南地域に1人の隊員を受け入れ、それぞれの任務を担った。また、地域おこし協力隊インターン制度により2名を受け入れた。			
		地域振興係	問題	活動地域等の活性化に寄与しているかを検証することや隊員のケアが十分にできていない。			
			対策	①継続 隊員と地域等の目標に向けた取組のマッチングと、定住につながるようサポートを継続していく。			
			事業費	9,507	14,342	17,352	22,377
			事業費	9,507	14,342	17,352	22,377
05		総合政策課	目的				
			概要				
			成果				
		地域振興係	問題				
			対策				
			事業費				
			事業費				
06		総合政策課	目的				
			概要				
			成果				
		地域振興係	問題				
			対策				
			事業費				
			事業費				
07		総合政策課	目的				
			概要				
			成果				
		地域振興係	問題				
			対策				
			事業費				
			事業費				
08		総合政策課	目的				
			概要				
			成果				
		地域振興係	問題				
			対策				
			事業費				
			事業費				
事業費の合計(千円)			39,270	45,573	49,312	55,627	